

「声」を募集しています。

- ・ 自分の地域に必要なこと
- ・ 保育所や学校への提案
- ・ 大山町活性化のアイデア

などが、いま募集中のテーマです。
ぜひぜひ投稿をお願いします。
投稿はハガキ・FAX・電子メールで！

ご不明な点がございましたら、
お問い合わせは議会事務局まで。
お気軽にお電話ください！
(TEL) 0859-54-5213

募集要項

(題) 10字以内
(文字数) 250~300字程度
(明記するもの) 住所・氏名・年齢・電話番号

(送付先) 〒689-3211 大山町御来屋328
(FAX) 0859-54-5214
(電子メール) gikai@daisen.jp



新山 通江
(新坪田)

木炭談義

たかが木炭談義ですが、
関心をお寄せいただければ
幸せに存じます。
R・ベッカー博士の「電
磁波ネットの干渉を憂慮
する」と題するレポート
と同じ頃、東大医学部に
在籍中の山野井工学博士
が木炭をひっさげて、同
じテーマの研究論文をあ

る冊子に連載されていま
した。私が備長炭びんちょうたんの虜とりこ
になったのは、もう十年
の昔になったその折から
でした。
例えば、他に突出して
陰イオンを多量に放出す
る備長炭が、生命体すべ
ての細胞を賦活ふかつさせると
明言し、一方、何の対策

もとられなかったネズミ
の場合、60ヘルツの電磁
場にか月さらすだけで、
決定的な結果に陥るなど
と報告されています。
十年後の今、これら生
体に及ぼす脅威は解決し
たのでしょうか。



永島 幸範
(あけまの森)

住みたい、 住める大山町

春夏秋冬、大山はいつ
の季節も、冬雪景色も最
高です。知人は、口を揃
えて「いいところだね」と
言ってくれます。
しかし大山の冬は本当
に大変なんです。昼間
でも20〜30センチ積もるの
は当たり前、家の周りの

雪かきも半端ではありま
せん。道路の除雪は遅い
時は9時前です。以前は
7時には除雪されてい
ても冬でも松江にも通勤可
能だったように思ってい
ますが、最近はそうはい
きません。
地方財政圧迫の折、効

率中心の行政は過疎や人
口減少を食い止める特効
薬にはなりえないと思
います。ライフラインの創
造・確保は、地域と活力
創造の源です。住み続け
られる大山町として発展
するよう希望します。



前田 美波
(下田中2区)

児童館の存在

我が家は共働きの核家
族、子どもが3人います。
寂しく過ごすであろう放
課後を、地域の方も集う
児童館で楽しく過ごせて
います。
家ではつい「散らかし
て」となりがちな工作
お絵描き、部屋中に広げ
られるおもちゃも、児童
館では目いっぱい活動を

繰り広げられ、時には職
員の先生をおぼけにおぼ
け屋敷もしています。
季節の行事を始め様々
な活動が企画され、2歳
の娘も「早く児童館に行
こうよ」とせかしてく
います。
そこには、子どもの思
いに寄り添い温かく見守
って下さる職員の先生、

地域の方の姿が感じられ
とても感謝しています。
子どもが集う姿が見ら
れにくくなった最近、我
が家の第2の家庭となり、
地域の子育ての拠点とな
る児童館の存在は誇るべ
きだと思えます。
是非、多くの方に利用
して頂きたいです。

あとがき

明けましておめでと
うございます。新たな
気持ちで新年を迎えら
れたことと思います。
新成人の笑顔や若さ
とパワーに接し、前向
きに生きる姿を頼もし
く思いました。若者が
夢と希望を持ち、喜ん
で定住してくれる町づ
くりを推し進める事が、
これからの本町の重要
な課題ではないかと思
います。
町民の皆様には議会の
活動に関心をもって
いただくために「見てわ
かりやすい」紙面づく
りにしたいと、広報委
員一同、編集作業に取
り組んでいきたいと思
います。ご愛読をよろ
しくお願い致します。
皆様の率直なご意見
やご感想をお待ちして
おります。
杉

《発行責任者》
議長 野口 俊明

《広報委員会》
委員長 竹口 大紀

副委員長 大森 正治

委員 西山富三郎

委員 池田 満正

委員 杉谷 洋一

委員 米本 隆記